

(6) アスファルト合材

新潟県

記事提供：新潟県アスファルト合材協会

新潟県における令和6年度7～9月期の出荷状況は、県全体で前年同期比6%減の245,000トンとなり、令和4年度実績の301,000トン、令和5年度実績の262,000トンからも大幅に減少しました。令和5年度に県全体で1,000,000トンを下回った製造量の減少傾向が、引き続き継続しているといえます。上半期の累計数量でも、令和5年度実績495,000トンに対し、令和6年度実績は448,000トンと前年同期比で約10%減少しており、令和5年度の1,000,000トンを割った製造量は、それをさらに下回るペースで推移しています。

地区別の状況では、上越地区が35,000トン（前年同期比92%）、中越地区が82,000トン（同94%）、下越地区が121,000トン（同92%）となっており、佐渡地区を除く全地区で前年同期比の減少が確認され、市場の急激な縮小が見られます。これにより、工場の稼働率は低く、製造能力には余裕がある状況です。

また、1月1日に発生した震災の影響で、下越地区（特に新潟市内）の各工場におけるアスファルト殻の受け入れ量が超過する傾向にあります。一部の工場では受け入れ停止や制限が行われており、各工場は保管量と使用量のバランスに苦慮しています。

急激な製造数量の減少により、工場運営の安定性が欠如し、各工場では運搬ダンプの確保が難しくなっています。さらに「2024年問題」も加わり、問題が一層深刻化しています。運搬ダンプ確保のための費用が高騰するなど、負の連鎖が発生し、工場の運営状況は悪化しています。昨年度末には1工場が閉鎖されましたが、今後、閉鎖を検討する工場が増加する懸念があります。

富山県

記事提供：富山県アスファルト合材協会

富山県における令和6年度7月～9月期の出荷状況は、県計で11万7千tで前年同期と比べ9%の増となった。地区別でみると東部地区が7万1千tで17%の増。西部地区が4万5千tで増減0%となった。

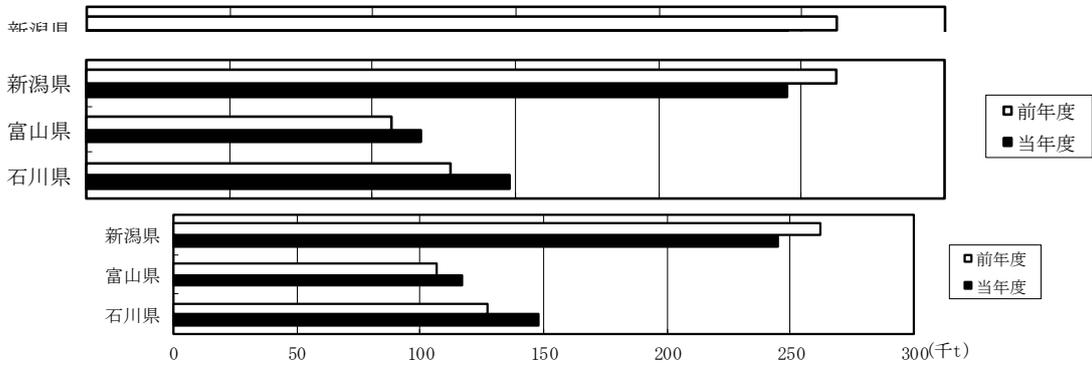
今後も西部地区は、能登半島地震の復旧工事で需要が伸びると予想されますが、県全体としては、ダンプトラックの運転手不足でひっ迫状態である。またそれに伴い合材用骨材の原石も枯渇気味になっており価格も上昇傾向にある。

石川県

記事提供：石川県アスファルト合材協会

石川県における令和6年度7月～9月期の出荷状況は、前年同期に比べ加賀地区で前年比5.6%減、能登地区で前年比73.5%増、石川県全体では前年比16.0%増と昨年同時期に比べ加賀地区は減、能登地区は大幅増、石川県全体としても出荷量は増加した。

令和6年度第2四半期も前期同様、能登半島地震による道路の復旧工事が、昼夜問わず行われている状況で出荷量が大幅に増加しており、第3四半期についても引き続き復旧工事が続くと思われる。加賀



県	地区	令和5年度 年計	令和6年度				累計
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	上越	5	▲14	▲8			▲58
		136	31	35			31
	中越	▲4	▲10	▲6			▲60
		276	63	82			63
	下越	▲6	▲15	▲8			▲59
	546	104	121			104	
佐渡		▲4	0	40			▲50
		23	5	7			5
県計	▲4	▲13	▲6			▲59	
	981	203	245			203	
富山県	東部	▲16	6	17			12
		229	60	72			132
	西部	▲11	24	0			12
	176	55	45			100	
県計	▲14	4	9			12	
	418	115	117			232	
石川県	加賀	▲4	6	▲5			0
		373	86	88			174
	能登	48	141	74			100
		130	52	60			112
県計	6	34	20			24	
	503	138	148			286	

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県

会員32社のうち32社

富山県

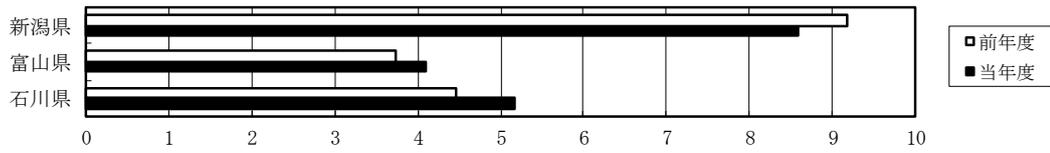
会員14社のうち14社

石川県

会員18社のうち12工場分

◎参考資料

アスファルト出荷量の推移（7月～9月期）



(単位：千t、%)

県	地区	令和5年度 年計	令和6年度				累計
			4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	上越	5 4.8	▲14 1.1	▲8 1.2			▲58 1.1
	中越	▲4 9.7	▲10 2.2	▲6 2.9			▲60 2.2
	下越	▲6 19.1	▲15 3.6	▲8 4.2			▲59 3.6
	佐渡	▲4 0.8	0 0.2	40 0.2			▲50 0.2
	県計	▲4 34.3	▲13 7.1	▲6 8.6			▲59 7.1
富山県	東部	▲16 8.0	6 2.1	17 2.5			12 4.6
	西部	▲11 6.2	24 1.9	0 1.6			12 3.5
	県計	▲14 14.6	4 4.0	9 4.1			12 8.1
石川県	加賀	▲4 13.0	6 3.0	▲5 3.1			0 6.1
	能登	48 4.5	141 1.8	74 2.1			100 3.9
	県計	6 17.6	34 4.8	20 5.2			24 10.0

(注)・上段は前年同期との比較

※特殊アスファルト合材等が含まれる全ての合材に対しての量

「アスファルト出荷量 (千t) = アスファルト合材量 (千t) × 3.5%」